

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	篠山市立味間小学校 職・氏名 教諭 方山 直人	研究チーム名 ( 味間言語活動研究グループ )
-----------------	----------------------------	----------------------------

研究テーマ分類番号 ( 1 )

(1) 研究テーマ
言語活動を充実させ、自ら考え、よりよい生活を創り出す子どもをはぐくむ家庭科教育
(2) 研究経過及び具体的な取組
<p>4月12日(火)「家庭科授業における言語活動の充実について(授業研究)」</p> <p>①実施場所 味間小学校</p> <p>②講師 兵庫教育大学大学院 学校教育研究学科 准教授</p> <p>③単元名 「家庭科デジタル紙芝居 家庭科かくれんぼ」(ガイダンス授業)</p> <p>④成果と課題</p> <p>言語活動の充実に関する基本的な考え方について、授業研究と講師の方からの講話をもとに理論研修を行う。言語活動を充実させる目的は、思考力・判断力・表現力を育むためのものであり、家庭科のような体験から感じ取ったことを表現することや情報を分析・評価・論述すること、課題について、構想を立て実践し、評価・改善するなどといった言語活動を取り入れることが大切であると学んだ。そこで、家庭科の教科書を分析すると、文章記述や表・計画、発表、インタビューなどの言語活動が増加していることから、それらを参考に学習活動を計画していく必要があると話し合った。また、今回のガイダンスの授業は、学習指導要領の中に新しく位置づけられた内容で、見通しを持たせるために「これから学ぶこと」や「できるようにになりたいこと」を書かせる言語活動が設定されている。本授業は具体的に何を学習するかが難しいのではないかということで作られた教材であり、兵庫教育大学大学院生の方に協力いただき、デジタル紙芝居を活用し、家庭科の学習のイメージを持ち、子どもたちは授業を受けることができた。</p> <p>6月27日(木)「家庭科授業研究会・事後研修会」</p> <p>①実施場所 味間小学校</p> <p>②講師 兵庫教育大学大学院 学校教育研究学科 准教授</p> <p>③単元名 「目指せ、洗たく名人！」つくろう！さわやかな生活</p> <p>④成果と課題</p> <p>家庭科における言語活動を充実させるためには、思考を言語化させるような体験活動を取り入れるべきであり、今回は、洗たくの比較実験を行うという「比較」を内容に取り入れたことがよかった。また、「適量」ということばを子どもたちにどのように捉えさせるかという、内容と中身を一致させることは家庭科の本質であることを教えていただいた。また、実感を伴う学習内容を設置することは大切であり、今後もそのような教材研究を考える必要があると話し合った。</p>

10月7日（金）平成23年度 兵庫県小学校家庭科教育研究大会・丹波大会（篠山大会）  
における公開研究授業

①実施場所 篠山市立味間小学校 全学年

②成果と課題

家庭科教育について、低学年からの関連と言語活動を充実させた学習の在り方について、昨年度からの取組の成果を掲示物や授業で発表することができた。言語活動を通して、家庭科の学習を深める学習スタイルを提案することができた。家庭科の学習を他学年とも関連づけて公開した研究の取組について他地域の参加者の方から評価を受けることができた。今後の課題は、いかに日常生活に生かすかという、家庭科教育の日常化を意識し、啓発にあたりたい。